

2026年3月26日

AIを活用した給付金不正請求検知の本格運用を開始 ～2026年4月より、二段階モデルで検知と判断の高度化を実現～

第一生命グループの一員であるネオファースト生命保険株式会社(代表取締役社長:上原高志、以下「当社」)は、2025年6月16日付ニュースリリース(※)にて公表した、「給付金不正請求検知の高度化をAIが支援する取組み」について、同年12月に開発および実装をすべて完了しました。そして、2026年4月からこれらの仕組みを実際の業務プロセスに組み込み、本格的な運用を開始することをお知らせします。

(※)[2506160001.pdf \(neofirst.co.jp\)](#)

【取組概要】

2025年10月に導入した仕組みでは、過去の給付金請求データの傾向や共通点をAIが整理・分析し、「通常とは異なる特徴を持つ請求」や「過去の事例と類似した動き」を自動的に抽出することで、従来は人の目では気づきにくかった兆候も含め、より幅広い検知が可能となっています。

さらに、2025年12月に実装を完了した仕組みでは、複数のAIモデルを組み合わせて精度を高める手法(アンサンブル学習)を採用しています。

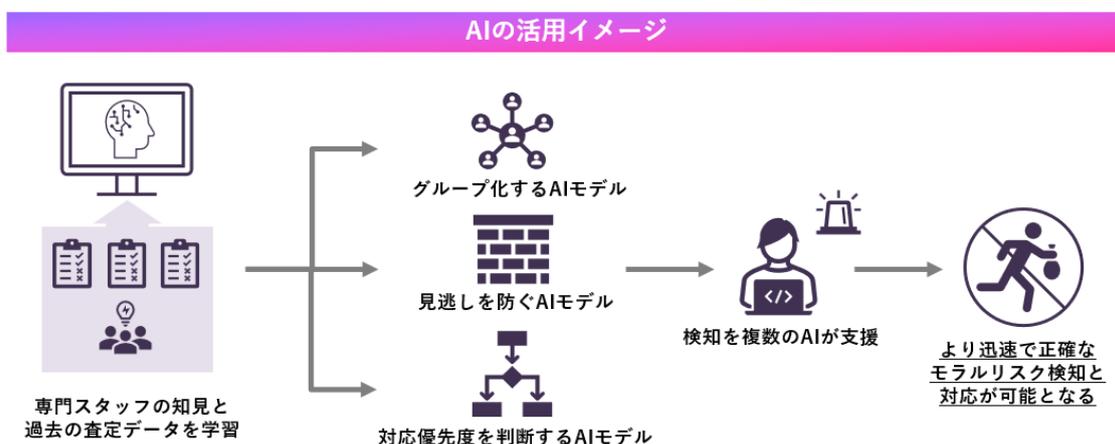
具体的には、

- ・わずかな不審兆候も見逃さず、広く検知することを最優先としたモデル群
- ・その中から、より注意が必要な請求を見極め、対応優先度の判断を支援するモデル群

という二段階の構成により、「検知の網を広げる」と「判断の精度を高める」ことを両立しています。

2026年4月から開始する本格運用では、これらの取組みにより、AIによる検知から専門スタッフによる対応要否判断までの時間を短縮するとともに、判断後の対応までのプロセス全体の早期化を実現します。

【取組全体像】



【取組みの効果】

本取組は、AIが専門スタッフの判断を支援することを目的としたものです。AIが示した分析結果や優先度を活用することで、専門スタッフは着目すべき請求を迅速に特定でき、よりの確でスピーディーな判断が可能となります。

これにより、

- ・正当な請求に対する**迅速なお支払い**
- ・不正の疑いがある請求への**早期対応**
- ・判断後の対応方針決定までの**リードタイム短縮**

といった効果が期待され、すでに一定のモラルリスクについてはAIによる検知と優先度判断の支援を実現しています。

【今後について】

当社は、保険制度を健全かつ公平に維持するため、本取組を進めています。給付金請求は、真に保障を必要とされるお客さまに安心してご利用いただくための大切な制度であり、当社は、その信頼性を守ることを最優先に取り組んでいきます。

また、当社は今後も、人の知見とAIを組み合わせた取組みを深化させることで、品質の向上とお客さま体験(CX)のさらなる改善を目指します。

そして、第一生命グループの一員として、データとテクノロジーを活用した変革を推進し、公正・公平で安心できる保険サービスの提供とともに、今後も当社ビジョンである「“生命保険から人生保険へ” 小さな人生不安にも、向き合う保険サービスを。」の実現に向けてお客さまの利便性向上に取り組んでまいります。

以上